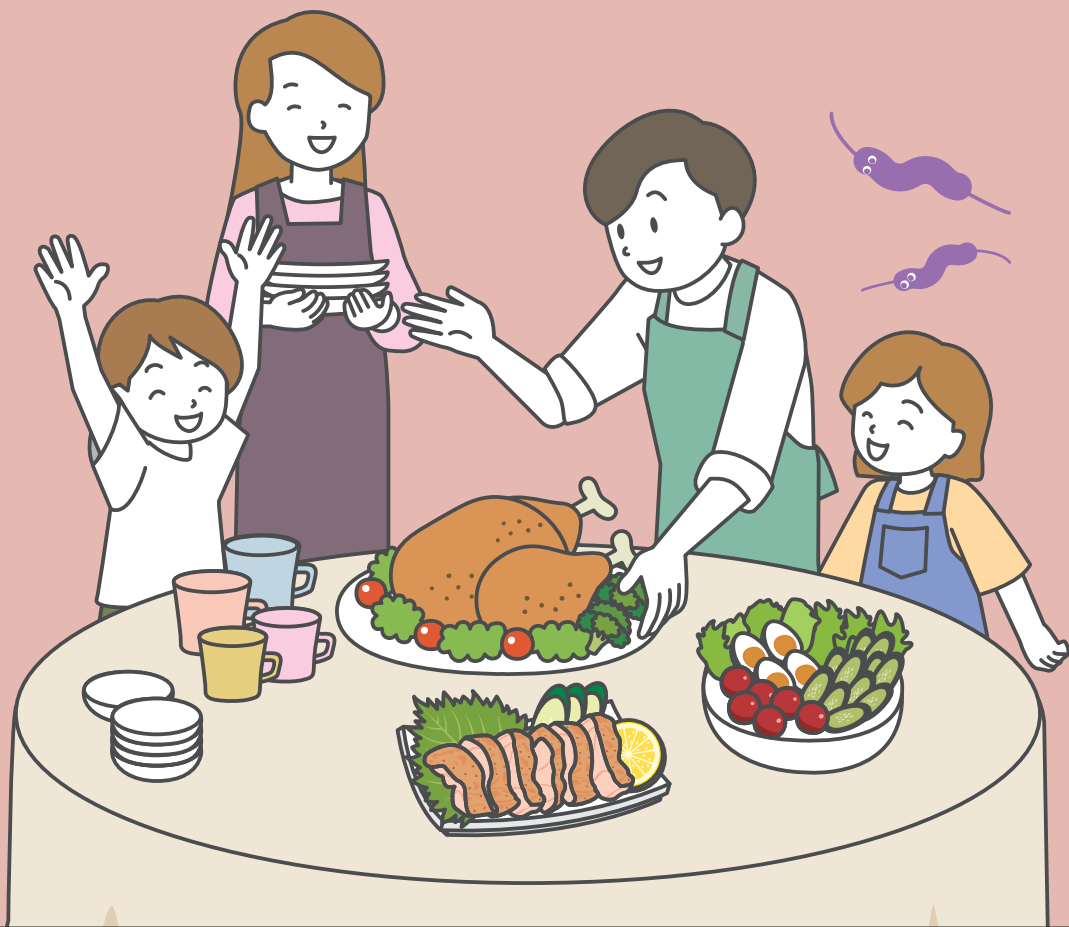


カンピロバクター 感染症 Q&A

監修：日本赤十字社 和歌山医療センター
感染症内科部
小林謙一郎 先生



もくじ

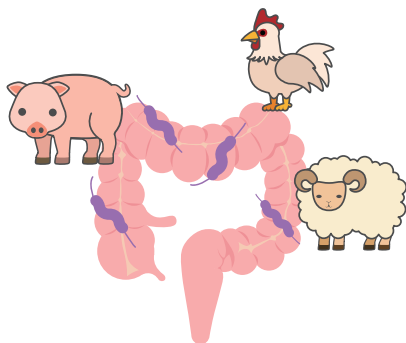
- Q1 カンピロバクターによる胃腸炎とはどのようなものでしょうか？
- Q2 「カンピロバクター」とはどのような細菌でしょうか？
- Q3 潜伏期間はどのくらいですか？
- Q4 カンピロバクターはどのようにして感染するのでしょうか？何度でも感染するのでしょうか？
- Q5 カンピロバクターに感染してから症状が無くなると、カンピロバクターもいなくなるのでしょうか？
- Q6 カンピロバクターによる食中毒や感染性胃腸炎が発生しやすい時期がありますか？
- Q7 どのような検査をして診断するのですか？
- Q8 発症した場合の治療法にはどのようなものがありますか？
- Q9 合併症をおこすことはありますか？

Q1 カンピロバクターによる胃腸炎とはどのようなものでしょうか？

A1 主な症状は、下痢、腹痛及び発熱で、他に倦怠感、頭痛、めまい、筋肉痛などが起こることもあります。比較的予後は良好です。初期症状は発熱や頭痛のみで、下痢を伴わないこともあり、風邪と間違われることもあります。

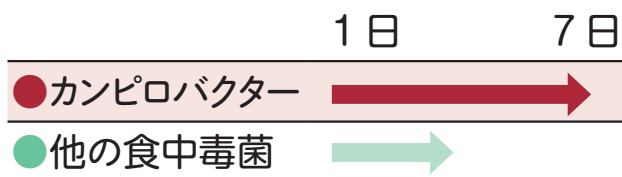
Q2 「カンピロバクター」とはどのような細菌でしょうか？

A2 カンピロバクター（ジェジュニ／コリ）は、ヒトに食中毒を起こす病原菌です。微好気性といって、酸素が少しある環境を好み、酸素が十分にある通常の大気や、逆に酸素が全くない環境では増殖できません。また、発育（増殖）できる温度域は、30℃から46℃です。本菌はウシ、ヒツジ、野鳥、ニワトリなどの腸管内に保菌されています。



Q₃ 潜伏期間はどのくらいですか？

A₃ 感染してから発症までの期間（潜伏期間）が、1日から7日（平均2日から3日）と他の微生物による感染性腸炎と比較して長いのが特徴です。



Q₄ カンピロバクターはどのようにして感染するのでしょうか？ 何度でも感染するのでしょうか？

A₄ カンピロバクター感染症の最も多い原因は、十分に加熱調理されていない鶏肉料理を食べることです。しかし、調理場が本菌に汚染されていた場合は、鶏肉料理以外が原因となることもあります。また、まれにはペットとの接触でも感染することがあります。非常に少量の菌で感染が成立し、1滴の鶏生肉の肉汁内に十分な量の菌が含まれているといわれています。感染する機会があれば、何度でも感染することがあります。

Q5 カンピロバクターに感染してから
症状が無くなると、カンピロバク
ターもいなくなるのでしょうか？

A5 症状が改善した後は、
他人への感染が問題に
なることはほとんどありません。



Q6 カンピロバクターによる食中毒や
感染性胃腸炎が発生しやすい時
期はありますか？

A6 カンピロバクターによる食中毒は、1年を通
じて発生しています。

春から秋にかけて発生のピークがみられますが、冬期
にも発生がみられます。



Q7 どのような検査をして診断するのですか？

A7 カンピロバクター感染症を症状だけで診断することは難しく、便の細菌培養検査を行って診断しますが、培養検査の結果が出るまでには数日間かかります。

最近では15分くらいで結果の分かる迅速抗原検査キットも登場し、新たな検査体制の構築が進められています。

Q8 発症した場合の治療法にはどのようなものがありますか？

A8 多くの場合、特に治療をしなくても1週間程度で状態が改善します。

下痢が続いている間は水分補給が必要です。患者さんの中には、血便など症状が重篤な場合や、重症化しやすい免疫不全や妊婦の方などに対して抗菌薬を使用することがあります。



Q₉ 合併症をおこすことはありますか？

A₉ 急性期の合併症として、まれに菌血症や胆のう炎等がみられます。

感染後の合併症では、ギラン・バレー症候群が有名です。

【ギラン・バレー症候群とは】

感冒等の上気道感染や下痢を伴う胃腸炎に感染して1～2週間後に、手足の先にしびれや力の入りにくさが出てきます。その後数日から2週間のあいだに急速に症状が進行することが特徴です。

神経症状が出てから2週から4週で症状はピークになり、重症例では四肢麻痺が進んで歩行に介助を要し、十数%の患者さんは呼吸筋にも麻痺が及んで人工呼吸器を装着することが知られています。





2026年3月作成
QK2603003
(1099432) HK